

## 令和元年度 第1回横浜市勤労者福祉共済運営審議会会議録

- 《日 時》 令和元年6月26日(水) 10時00分～11時00分
- 《開催場所》 横浜市技能文化会館6階603研修室
- 《出席者》 柴橋会長、石田副会長、石原委員、平野委員、沢田委員、窪田委員、木場委員、齋藤委員、鈴木委員、中村委員、中山委員
- 《欠席者》 花本委員、磯上委員、福田委員
- 《開催形態》 公開(傍聴者0人)
- 《議題》 (1) 平成30年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について  
(2) その他
- 《決定事項》 (1) 会議録確認は、平野委員が行う。  
(2) 平成30年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について、議案どおり了承された。

### 《議事》

#### 【開会】

(事務局) 定刻になりましたので、令和元年度第1回横浜市勤労者福祉共済運営審議会を開催いたします。それでは柴橋会長から開会宣言をお願いいたします。

(柴橋会長) 令和元年度第1回横浜市勤労者福祉共済運営審議会を開催いたします。よろしくお願ひします。

#### 【柴橋会長挨拶】

#### 【市民経済労働部長挨拶】

(事務局) それでは、ここから後の議事進行を柴橋会長にお願いいたします。

(柴橋会長) はじめに事務局より出席者の報告をお願いいたします。

#### 【出席委員数報告】

(事務局) 本日御出席の委員数を報告します。現時点で14名の委員のうち11人の委員に御出席いただいております。したがって、横浜市勤労者福祉共済条例第16条第2項に規定されている定足数を満たしておりますことを報告します。また本会議の傍聴者はございません。

(柴橋会長) ただ今、事務局から報告がありましたとおり、出席委員が定足数を満たしており、本審議会が有効に成立しておりますことを御報告申し上げます。

なお、前回「平成 30 年度第 2 回横浜市勤労者福祉共済運営審議会」の会議録について、中山委員に御確認いただいておりますことを御報告申し上げます。

それでは議事に入る前に、「審議会運営要綱第 6 条第 2 項」による会議録の確認について、本日の審議会の会議録確認者の提案をさせていただきます。これまで順次確認をお願いしてまいりましたが、今回は平野委員にお願いしたいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。

(各委員) 異議なし。

### 【議 事】

(柴橋会長) まず初めに、議事(1)「平成 30 年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について」、事務局から報告願います。

(配付資料に基づき、平成 30 年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について事務局から説明)

(柴橋会長) それでは、ただ今の議事(1)「平成 30 年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について」、御意見、御質問がございましたらお願いします。

(柴橋会長) 他に御意見、御質問がないようでしたら、議事(1)「平成 30 年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について」御確認をいただいたということでよろしいでしょうか。

(各委員) 異議なし。

(柴橋会長) 次に議事(2) その他といたしまして事務局より、前回の審議会委員の皆様から頂いた御意見、御要望についての回答をお願いいたします。

(事務局) それでは、引き続き事務局から説明させていただきます。前回 3 月の審議会の際に、審議会委員の皆様からいただいた御意見御要望等について事務局からお答えします。

最初に、加入促進の計画について説明いたします。まずダイレクトメールの発送については、昨年と同じように実施を考えています。8 月、10 月、12 月の 3 か月で発送することによって、事業を PR したいと考えております。

また加入促進強化ですが、まず拡充ということでテレフォンアポイントの電話外部委託を通して、集中的に加入を促進していく予定です。今年度は 8 月から 3 月までの 8 か月間行う予定です。

その他、営業専任スタッフを設置も拡充します。営業専任スタッフを雇入れ、営業を行うということを考えております。以上、DMとテレポと営業を連携させ、効率的に加入促進を進めていきたいと考えております。

また、事業所勧誘等ということで、加入資料の請求があった事業所への営業、DM送付後の訪問希望事業所への営業等を行うということを考えております。

次に交通機関の広告ですが、市営地下鉄の広告については、大変多くの方にご覧いただいております。広告を見て大変多くの事業者様から資料請求をいただいております、引き続き掲載を続けてまいります。また、相鉄線で電飾の看板を設置するほか、ポスター等で広告掲載を行う予定です。

続きまして、横浜スタジアム広告掲載ですが、レギュラーシーズン期間中は、昨年度と同様に掲載を行います。また、各種広告掲載ということで商工会議所様の冊子等への広告掲載や、よこはま技能祭りの広報、横浜市工連様発行の冊子への広告掲載を行ってまいります。

続きまして、前回の審議会でもいただいた御意見について回答いたします。まず、ハマふれんどサービスのスマートフォン対応について御要望をいただいております。こちらは、すでに御用意しているハマふれんどスマートフォン用ウェブサイトについて、スマートフォンから手軽にアクセスいただき情報を御確認いただけるよう、ハマふれんどニュースの表紙にQRコードを掲載させていただきました。

また、スマートフォンでの会員証や補助券提示によるサービス提供について御要望をいただいておりますが、会員証については、実際にサービスを提供いただいている企業様より、会員証の提示だけでのサービス提供は難しいという御意見が増えてきており、費用対効果を踏まえて今後の検討を行いたいと考えております。なお、補助券を利用したサービスにつきましては、可能なものからデジタル可を行い、より迅速なサービスを提供できればと考えております。

ハマふれんどのアプリについて御要望をいただいております。会員様のニーズもあると思いますが、アプリの作成に多額の費用と時間がかかるということですので、中長期的に検討をしていきたいと考えております。

次に、ハマふれんどサービスの内容や御利用についてですが、プレミアム性のあるチケットの確保については、引き続き努力を継続していきたいと考えております。

次に、働きながら子育てをされている方に向けてのサービスですが、ハマふれんどオリジナルサービスとして、家事代行やハウスクリーニングへの補助制度、ベネフィットステーションでは育児補助金制度が用意されています。これらのサービスをより多くの方に利用をしていただけるよう告知の方も含めて強化をしていきたいと考えております。

子育て中の世帯に向けた、近場で何度も利用出来るようなサービスについての御要望をいただきました。こちらは、横浜市の施設として金沢動物園やズーラシア等の割引特典や、その他民間の施設で使える割引特典を増やしてゆく、また家族連れで行ける飲食店のサービス対象を増やして行ければと考えております。

また、会員様の誕生日や、売上成績が良かった方にポイントを付与するなどの、いわゆるイ

ンセンティブポイントの導入について御要望がありました。こちらのサービスについては、今後委託事業者を変更する可能性もあるということで、現段階ではハマふれんどに組み込むことは難しいということをお理解いただければと思います。

また、ハマふれんど長期加入者の方への給付金についてですが、現在5年、10年、15年の加入者の方に給付金を受け取っていただいております。もう少し長く20年30年継続されている会員の方にも給付が出来ないかという御意見もありました。どのくらいの予算が必要か試算をしたところ、15年の加入者の方の給付金が2万円となっており、それと同額で20年、30年の方に支給すると考えると、単年度で約2,500万円必要ということが積算上出てきております。現状では予算面で難しいということです。

最後に、加入時の申請書類のエクセル化ということで、現在御加入していただく際に申請書を手書きで記入していただいておりますが、エクセル等で書類を作成出来ればという御意見をいただきました。こちらは、年度内に実施出来ればと考えております。

説明については、以上となります。

(柴橋会長) 一つ一つの要望について、詳細にお答えいただきまして有難うございました。ただ今の説明について、御意見御質問がございましたらお答えいただければと思います。

(各委員) 異議なし

(柴橋会長) 次に、50周年記念事業について、事務局より提案、説明がありますのでお願いします。

(事務局) 令和2年度で、勤労者福祉共済は創設50周年の節目を迎えることになっております。これにともなって今回の提案をさせていただきます。

今回の50周年記念事業を行うことによって、一つはハマふれんどを支えていただいている会員の皆様への感謝を込めて、毎年の実施は難しい特別イベントを実施し、既存会員の満足度の向上を図りたいということ、もう一つはハマふれんど事業が長期に渡って実施している優良事業であることを踏まえ、市民に向けて広く周知することでブランド力を高めて新規加入の増加を図る、という2つの目的がございます。

次に事業例として、事務局で考えたものを提案いたします。最初に、特別感のある大規模なイベントということで例をあげておりますが、ひとつ目が、横浜DeNAベイスターズの冠試合になっております。具体的なサービス内容ですが、チケットの優先割引販売や始球式、スタメンキッズや練習見学というこのようなサービスを想定しています。

加入促進ということですが、試合タイトルへの命名が挙げられます。また、スタジアムビジョンへの掲出やスタジアム装飾ということでコンコースモニターやのぼりでハマふれんどのPRが可能です。2018年度の横浜スタジアムの平均観客動員数が約31,000人となっており、3

万人以上の方にハマふれんどをPRが出来るということになります。

続きまして、横浜Fマリノスのワンデースポンサーになります。サービスについては、バックアップゾーン席の優先販売、ピッチサイドシート、試合前の記念撮影、エスコートキッズ等のサービスを想定しています。加入促進については、試合タイトルへの命名、スタジアムビジョンへの掲出、またブースを出店しハマふれんどのPRが可能です

続きまして幅広い会員へのサービスとして、希望者全員にロールケーキやコーヒーをプレゼントする、例年実施している人気あるサービスへの補助額を増額してサービスをするなどのサービスが考えられるかと思えます。

最後にノベルティグッズの配布ということで、より広く会員・事業主の方へのサービス提供と、50周年事業のPRと利用促進ということで、ノベルティグッズを作成して配布するというものです。例えば、事業者の一つグッズを配布すると考えると、約4,500社加入していますので、1つ500円のもので225万円、会員の方全員にグッズを配布すると、約68,000人になりますので、100円のものでも680万円になりますが、一つの考えということで挙げさせていただきます。

最後に50周年記念事業を行うにあたり、どのように事業内容を決めて行くのかとなりますが、まず会員アンケートを行いたいと思っております。このアンケートの結果と本日の審議会の中で出た御意見等を参考にして、事務局で案を作成し、各委員の皆様にご確認をいただく予定です。最終的には、会長、副会長の御確認をいただいたうえで内容が確定出来ればと考えております。最後に、来年の3月に行う令和元年度第2回の運営協議会で最終的な決定をいただき、令和2年度に実施したいと考えております。

(柴橋会長)ただ今、50周年記念事業について事務局から説明をいただきました。50周年事業については、幅広く提案があげられていますので、皆様の御意見をいただきたいと思えます。まず、大規模なイベントについて御意見ありますでしょうか。

(委員)私どもの会社でも冠試合をやらせていただいて、多くのお客様に来ていただいています。先日も満員に近い試合でした。より多くの方に見てもらえるとは思いますが、果たして記憶に残るのかなと思えます。また、安く試合が見られる、安くなればより家族で行けるチャンスが増えていいかと感じています。横浜スタジアムは非常にいい場所で、日産スタジアムの試合もそのようなことが出来ればどちらも捨て難い、迷っています。野球が32,000人、マリノスの試合で31,000人近く観客がいるということで、どちらも効果があるかと思えます。ブースとして何を出すかという点は不明ですが、どちらが良いか決めかねるくらい非常に良いイベントかと思えます。

あと、補助券にプラスアルファを付けるというのは、50周年記念というのがあまり感じられない。普段やっているものに気が付けば少し安くなっているという印象が残るよりは、特別感のあるイベントなどを実施した方がいいと考えています。

(委員) 事務局の話にあった、幅広い会員に対するお得感のあるサービスですが、ハマふれんど 50 周年ですとあってプレゼントするというのは、特別感がどこまで会員に伝わるのか疑問ということ、逆に新規に入ってくれる方へのアピールはどうなっているのかと思います。単に去年よりサービスがプラスされているだけと取られてしまいますので慎重に検討した方がよいかと思います。

(委員) 50 周年ということで、50 にちなんだ金額や商品を考え、50 周年を意識してもらえりようなサービスを考えるはどうでしょうか。

(委員) なかなか難しいですが、私の意見としては利用者の行動も、何か商品を作るにしてもお金が横浜市内に落ちることが良いかと思います。

(委員) 例年行っているサービスへの上乗せについては、審議会に出席しているから得しているのがわかるのであって、そうでなければあまりメリットを感じないと思います。可能ならば大規模なイベントを 2 つ出来たら良いかと思いました。

(委員) いろいろな案を考えていただき有難うございます。ぜひ、事務担当者として避けてもらいたいことがあります。それは、会員全員に商品を配布するというものです。弊社は社員が社内に常駐していないことが多く、何か配布物があると会社から宅配便を使って送ることになります。ハマふれんどの入学お祝い品を宅配便やレターパックで送るのですが、会社の方で手間と郵送代を負担することになります。そのため、100 円のをいただいてもそれ以上の送料がかかってしまいます。下手をすると、ご自由にどうぞと事務所に置かれてしまうこともあり、全員にいきわたらない可能性もあるので、案としては効果が低いかと思います。特別感のあるイベントについては、安くなくてもよいので、普段行けないところを確保してほしい。そのような形で安くなくてもいいのでチケットがとれたというサービスがあると、50 周年おめでとうという感じになると思います。

(委員) 素晴らしい企画例だと思います。お得感のあるサービスを皆様に、ということですが、今コーヒーとかケーキなどスマホのアプリを利用するサービスは巷に溢れているので、大規模なイベントの方がより印象が強いと思いますので、予算をこちらに投入した方が良いと感じました。

(委員) スポーツに興味がない人に対してどうするのか、いろいろ苦心があつて様々な案が出てきたのではないのでしょうか。大規模イベントでスポーツではないイベントは考えられますか。例えばイベントにビアガーデンなどを附帯するという案などは考えられないのでしょうか。

(事務局) 観劇などを全部もしくは一部貸切りということなら実現の可能性はあります。

(委員) 限られた予算の中で、様々な事業を実施することは大変なことです。通年を通して50周年をアピールする、イベントで盛り上げるのも良いが、例えばマークを作って割引などで50周年をアピールするというのも考えられる。あと、50周年に伴ってハマふれんどのブランド力をつけるという意味で、市営地下鉄に広告掲載していますが、新たに市営バスのラッピング広告など、ハマふれんど50周年ということを皆さんの目に触れる提案が出来たらいいかと思えます。

(委員) 弊社が去年90周年で、ラジオ局と一緒に企画を行い、DJに司会を頼んだり、自分も生出演があったりと、その様子が番組で放送されて会社のPRになったのですが、冠イベントの司会やイベントのPRなど、広報企画を外部に頼んだ実績はありますか。

(事務局) 今まで実績はありませんが、マスコミを使ったPRも検討したいと思います。

(委員) ノベルティグッズの配布に関しては、全会員配布にすると使われないことも想定され、企画としてどうかと思います。また例えば、おしゃれなブランドとコラボしてトートバックなどを作り、50周年なので特別にプレゼントする、そこにおしゃれな形で50周年と入れるというのも面白いかと思えます。

(委員) 当社もプロスポーツの法人会員になっており、当社の商品を使っている方に観戦出来る座席を提供していますが、最近では利用が少なくなっている。やはり、人の関心はいろいろあるのかと思います。またふるさと納税でも考えることがあり、やはり横浜にお金入ってくるようなものが良いのではないかと思います。

(事務局) いろいろと御意見をいただいた中で、事務局としまして50周年ということで特別感のあるイベントや商品を作る、また50人や50%オフなど50にちなんだサービスの実施、横浜市内にちなんだもの、横浜にお金が落ちるようなもの、そのような観点で検討して、会員様向けのアンケートの内容を考えたいと思えます。

(柴橋会長) それでは、50周年の記念事業が有意義になりますように、実施をするということについては御確認いただいて、案をまとめていただくようお願いします。議事はこれで終了といたします。

(事務局) 本日は貴重なお時間を頂きましてありがとうございました。次回の審議会につきま

しては、来年の3月頃に、令和2年度の事業計画などを御審議いただく予定でございます。よろしくお願ひします。以上をもちまして本日の審議会を終了いたします。

《 資 料 》 議事（1）「平成30年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について」